

(別添3)

## 【鹿児島県東串良町】

### 校務DX計画

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際の実施を次のとおり定めます。

#### ○校務DXの推進について

校務DXの推進に向けて、学校から保護者へ発信する便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信や保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計を拡大していきます。クラウドサービスを用いてペーパーレス化や校務の効率化を図ります。現在、配置しているICT支援員を活用して教職員のICT活用の拡大を促進していきます。

#### ○校務支援システムのクラウド化

校務支援システムの導入により、学校業務の支援を強化し、事務作業の効率を高めることで、教職員が本来の教育活動に集中できる環境を令和4年度に整備しました。現在利用している校務支援システムは、グループウェア・スケジュール管理・名簿情報管理・出欠情報管理・成績管理・通知表作成・指導要録作成・保健管理機能等の業務で活用しています。しかし、学習系で生成されたデータと校務支援ソフトで生成されたデータとの連携が困難な状況であります。

次世代校務デジタル化に向けた校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、県域でのクラウド対応の校務支援システムについて次期システム更新時のクラウド化を目指し、学校現場と情報共有しながら、望ましい校務の在り方に関する検討を実施します。

#### ○FAX・押印の見直し

令和5年12月に文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、業務でのFAXの使用や保護者・外部とのやりとりで押印、署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務DXを阻害していることが指摘されていることから、ネットワークの不具合等を除き、FAX・押印の廃止に向けて、規則等の改正や学校及び学校とやりとりのある事業者に対して、慣行の見直しを依頼するなど働きかけていきます。